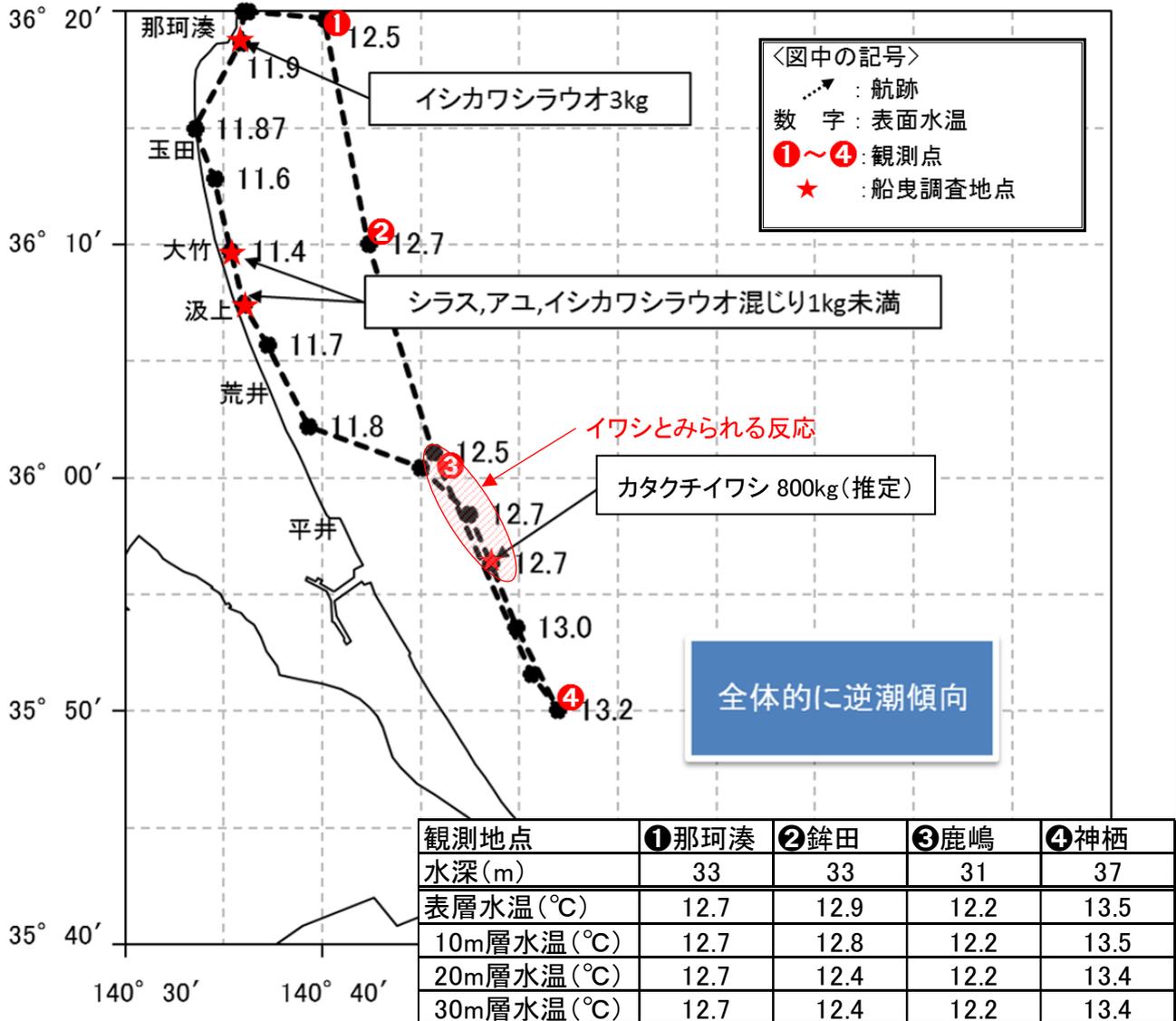


船曳網調査情報(No.1)

平成 29 年 2 月 22 日(水)に、調査船「あさなぎ」によりシラスの魚群探索及び水温観測を行いました。那珂湊～神栖地先を航走し、魚探で反応がみられた地点では、船曳網による試験操業を行いました。航跡図及び調査結果は以下のとおりです。



【調査地点図および観測結果】

【調査結果】

航走海域の表層水温は、灘側(水深 10m 付近)は 11°C 台、沖側(水深 30m 付近)は 12~13°C 台で、潮流は全体的に逆潮傾向でした。また水深 30m 付近で観測を行った結果、底水温は表層とほぼ同じでした(上表参照)。

反応がみられた地点(上図★)では試験操業を行い、大洗～鉾田沖の水深 10m 付近ではイシカワシラウオ、アユ、シラス混じりがわずかに漁獲されました。また、鹿島港沖水深 30m 付近ではイワシとみられる反応が広範囲にあり、カタクチイワシ(体長 9~10 cm)が約 800 kg 漁獲されました。

(担当 回遊性資源部 029-262-4172)